

初めて日本語を学習する人のための 「いそどり日本語オンラインコース 入門（A1）コース」の制作

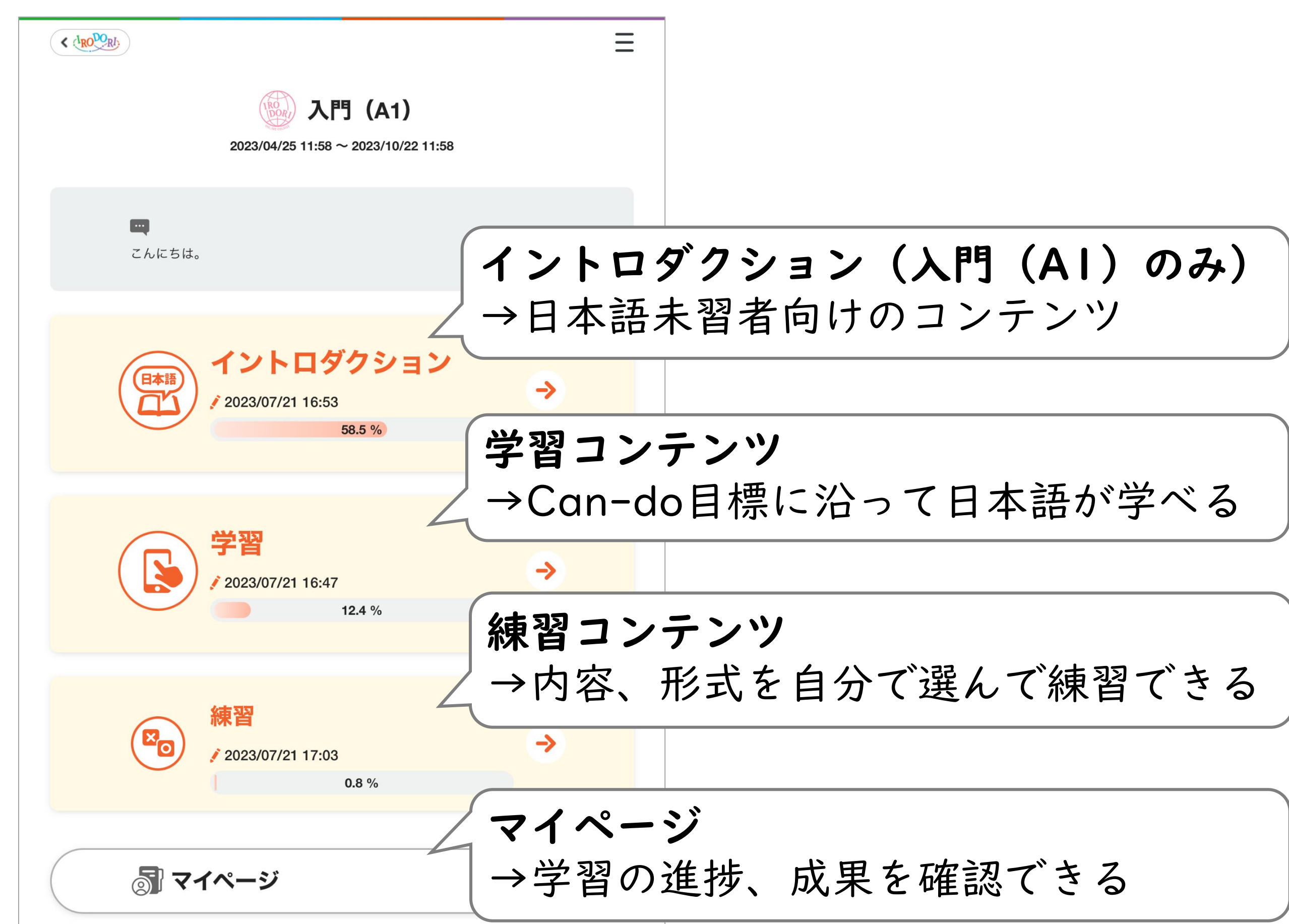
笠井陽介*、國頭あさひ*、熊野七絵*、安達祥子**、竹内智美*、宮内文音*
（*国際交流基金関西国際センター、**シドニー日本文化センター）

入門（A1）コースの概要

- ・無料（誰でもユーザー登録可能）
- ・マルチデバイス対応（スマートフォン、PC、タブレット）
- ・多言語対応（日本語、英語、ベトナム語、インドネシア語、クメール語、モンゴル語、ミャンマー語、ネパール語、タイ語、中国語）

※初級1（A2）コース、初級2（A2）コース含む、コースの全体の概要については、こちらをご参照ください。

安達・笠井・熊野（2023）「いそどり日本語オンラインコース」開発と運用
『国際交流基金日本語教育紀要』19号, pp.15-30, 国際交流基金



イントロダクション（入門（A1）のみ）
→日本語未習者向けのコンテンツ

学習コンテンツ
→Can-do目標に沿って日本語が学べる

練習コンテンツ
→内容、形式を自分で選んで練習できる

マイページ
→学習の進捗、成果を確認できる

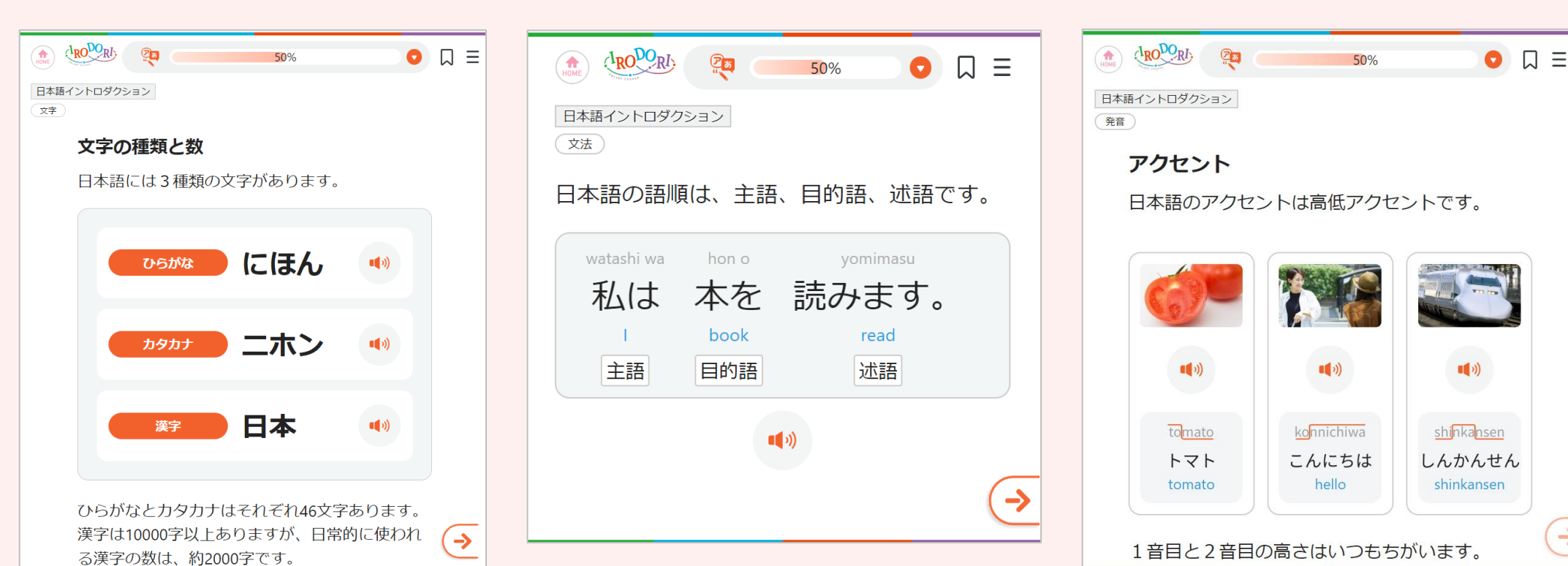
入門（A1）コース 制作上の工夫点

日本語の特徴の把握

- イントロダクション「日本語イントロダクション」
日本語の特徴（文字、文法、発音）の解説が自分の言語で読める

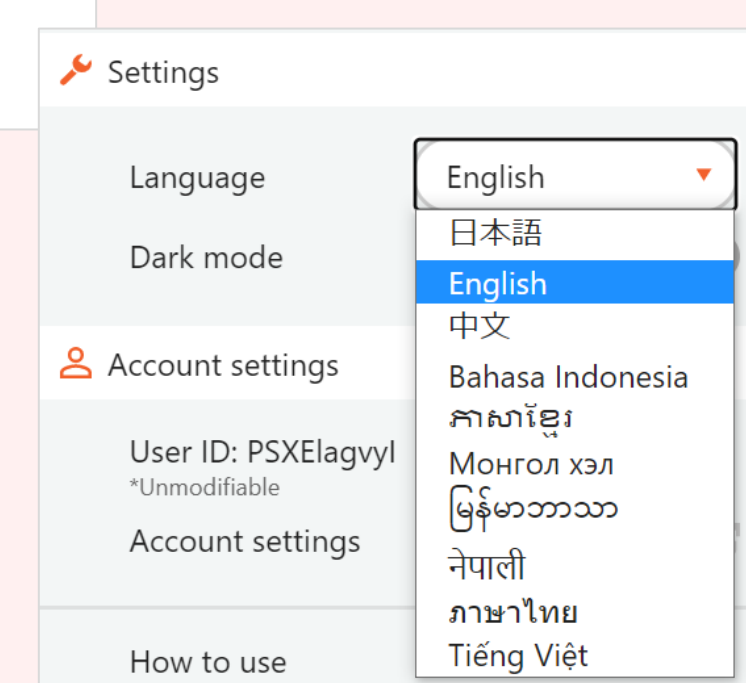


日本語に関する知識が全くない学習者でも、基本的な特徴を把握したうえで学習が開始できるようにした



イントロダクション「日本語イントロダクション」

解説言語が変更できる



文字未習者のサポート

- イントロダクション「ひらがな」「カタカナ」
仮名の発音と入力について、音声を読み取り、解説を読んだりしながら学習できる

- 練習コンテンツ「ひらがな」「カタカナ」
複数の練習形式（タイピング、手書き、聞いて選ぶ等）から選択して練習できる

- ローマ字表示ボタン
学習者が必要に応じて、「学習コンテンツ」内の日本語文にローマ字を併記させることが可能（入門（A1）の1課～10課）



学習開始直後の学習者に文字の導入、練習の機会を提供するとともに、文字が読めなくても学習を進められるようにした



イントロダクション「ひらがな」「カタカナ」

各ページに、発音や入力についての解説を用意



練習コンテンツ「ひらがな」「カタカナ」

豊富な練習形式を用意。
「間違えた問題」に絞り込んで練習することもできる

ローマ字表示ボタン

初期設定はOFF。
必要な学習者のみONに切り替えて使用できる

日本の生活・文化の疑似体験

- 日本の生活TIPS バーチャル体験
没入感のある日本の生活・文化の疑似体験ができる



VR技術（360度写真）を利用し、体験的に日本の生活・文化への理解を深められるようにした



日本の生活TIPS バーチャル体験

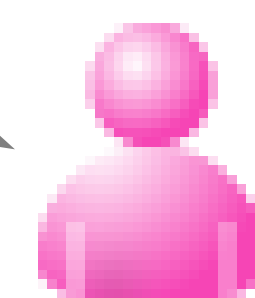
コンテンツの中では、自由に視点を変えたり、場所を移動したりすることができる

トピックの一覧：
あいさつ、おでん、日本の文字、日本の海、回転寿司、食券、日本の家、制服、映画を見る、和製英語、日本の本屋、日本の山、電車に乗る、お寺、コンビニ、電子マネー、マンガ喫茶、温泉

ユーザーの反応

アカウント登録者数：48,270名、入門（A1）コース受講者数：14,748名（2023年7月末時点）

- ・ゼロから勉強する人にとって学びやすい。
- ・教材『いそどり』にはローマ字がないので、ON/OFF方式で必要な人だけ表示できるのはとてもいい。



※コメントは、2022年12月～2023年1月に実施したユーザーアンケートの回答から、入門（A1）コースに関するものを抜粋した。アンケートはMicrosoft Formsを利用し、オンラインで収集した。回答者数は100名。

